

# おかあさんぎょうかい新聞

2020年  
5月号

岡崎 Oka'n the Kids 版 (Vol.12)



## ☆☆☆☆☆ 祝！1周年 ☆☆☆☆☆

お母さん業界新聞「岡崎 Oka'n the Kids (おかんぎきつず) 版」  
みなさまのおかげで、創刊1周年を迎えることができました!!!  
あれよあれよという間に創刊が決まった1年前でしたが、  
まさかその1年後、こんな世の中になっているとは、まったく想像していませんでした・・・  
それでもこの1年で、この地方でも、  
お母さん業界新聞の存在をたくさんの方に知っていただくことができ、  
少しでも「お母さんの心の種まき」をすることができたかな、とうれしく思っています。  
2年目のお母さん業界新聞「岡崎 Oka'n the Kids 版」もどうぞよろしくお願いいたします!

1年前のどたばたはこちらの記事を読んでね☆  
(お母さん大学サイト)



### 一斉休校3か月目・・・毎日こんな感じです

長男は、なぜか朝5時に起床(学校行ってるときは全然起きられなかったのに・・・(笑))  
起きるとすぐに着替えて、敷地内同居しているおばあちゃんの家に行き、こたつにもぐってテレビを観ています。  
夫は、緊急事態宣言が出てから時差勤務になり、朝5時過ぎには出勤。  
そして私と次男は・・・8時まで起きません(笑)  
時間に縛られない生活にどっぷり浸かってしまいました・・・元のリズムに戻れる自信がない・・・。  
朝ごはん食べて、着替えたり洗濯したりなんだかんだやってるうちに10時ごろになり、  
息子たちは遊んだり、おやつ食べたり、AmazonプライムやYouTube観たり、本読んだり。  
適当な合間に、長男は宿題。  
午前か午後のどちらかで、農家ゆえの広い庭で走り回って遊び、家に入ればまたテレビかおやつ。  
2階の長男の部屋で、プラレールを組んで遊んでいることもよくあります。  
そうこうしているうちに、夕方になり、夫が帰宅。  
夫と息子たちで、近場にサイクリングに行ったり、庭で遊んだりして、18時半ごろに夕ご飯。



・・・とここまで読んでお気づきの方も多いと思いますが、  
「時間割作って生活」とか、規則正しい生活はまったくしていません!  
起きる時間、ごはんの時間、お風呂の時間、寝る時間、は決まっていますが、それ以外は見事にフリー!  
それでも、長男は何かしらやること見つけて、自分なりに過ごしています。  
「暇だなー」と時々言うので、「暇な時こそ自分で時間の使い方を考えるもんだ」と突き放してます(笑)

### おうち時間に「おうちみそまる」!

2月名古屋で開催された「みそまるマスター養成講座&認定試験」を受講し、無事合格、晴れて【みそまるマスター】になりました☆  
【みそまるマスター】とは、味噌を愛し、かわいい味噌汁の素「みそまる」を通じて味噌を広める伝道師です。  
おうちでころころみそまる作り、「StayHome」な毎日の中でぜひ作ってみてはいかがでしょうか。  
ハッシュタグ「#おうちみそまる」で検索してみてくださいね♪



みそまるマスターの動画はこちら→



#### ★あらためて自己紹介★

天野智子(あまのともこ)名古屋生まれ名古屋育ち。名古屋駅新幹線口から徒歩10分のところで生まれ育ちました。  
小中学生の時は、今は無き『生活創庫』で文房具やお菓子を買う生活でした。  
2005年に結婚、夫の仕事の都合で神奈川県川崎市と名古屋市守山区に住み、2013年に夫の地元である岡崎市に引っ越してきました。  
夫の実家で敷地内同居しています。2012年2月生まれの長男と2017年12月生まれの次男がいます。  
2017年にお母さん大学に入学、2019年5月から岡崎での配布活動を開始しました!

## ＜今こそ変化の時、チャンスの時＞

(この文章は 2020 年 5 月 3 日に書いています)

毎日のように世の中が変化している今、「この文章を書いている日付」を書いておかないと、私を含めた世の中の価値観がどんどん変わっていつの間にか『時代錯誤』的な文章になってしまう気がして、とりあえず日付を記しています。

前回この「岡崎 Oka'n the Kids 版」を発行したのは 3 月。それから 2 か月経ちますが、気が付けば、世の中は「zoom」であふれている！オンラインでのやり取りがすでに日常のものになってきています。テレビ番組もそう、一部の学校や塾もそう、各種講座もそう、飲み会までも今はオンライン！

でもその中で「zoom 疲れ」なんて言葉も出てきたりして、(視覚情報の過多、視覚と聴覚で読み取るしかないため脳が疲れる)やはり人間というのは、五感を使って生きている生き物なんだとあらためて思ったりします。

とはいっても、今までどれだけ一部の人が望んでも実現されなかった、オンライン授業や、役所のオンライン手続きなどが、「やればできるじゃん」的にどんどん実現されていて、こうして、変化せざるを得ない状況に追い込まれると、たいていのことは実現できるんだな・・・と実感しています。

それは個人のレベルでも同じ話で、今まで勇気が出せなくて一歩が踏み出せなかったことも、この機会にえいっとやってみる。今だったら、いい意味で「なんでもあり」。

私は、個人の Facebook アカウントで、ライブ配信に挑戦してみました。夜、家族が寝た後、部屋にこもってパソコンの前でボソボソしゃべる。会話するわけでもなく、ひたすら一人でしゃべる。ラジオの DJ さんってこんな感じなのかな・・・あんなに魅力的に話せるなんて、やはりプロはすごいな・・・と、DJ さんの才能を痛感しました。ありがたいことに、夜中にも関わらず、友人たちが数人観てくれました。とても緊張したけど、「人前で話すのは苦手」な私が、一歩踏み出して実行に移したこと、自分で自分を褒めてあげようかな、とちょっと思います(笑)

長男は、プログラミングにハマり、Scratch ソフトで自由に何かしら作っています。たまに zoom の講座も受けてみたり。次男は、言葉が一気に発達し、3 語文まで出るようになりました。

子どもたちは、毎日が「変化」の時。勇気とかそんなもの関係ない。私も、子どもたちに負けずに、この大きな変化の波にうまく乗って、自らの価値観を良い方向へ再構築できたらいいなと思っています。

### お母さん記者募集！！！！

毎日の育児のこと、子どものこと、自分のこと、日々の生活の中で思っていること、お母さん大学で発信してみませんか？全国のお母さん記者ともつながることができますよ☆「お母さんだから書けること」「お母さんだから見えるもの」ぜひ仲間になって、今いる世界から一歩踏み出しましょう！興味のある方は、お母さん業界新聞社 045-444-4030 info@30ans.com またはお母さん大学岡崎 okan.the.kids@gmail.com まで！



お母さん業界新聞 岡崎 Oka'n the Kids 版 Vol.12 (2020 年 5 月)  
発行/お母さん大学岡崎  
編集長/天野智子(名古屋出身、小3と2歳の息子がいます)  
090-7695-9129 okan.the.kids@gmail.com  
Facebook ページ&Instagram「お母さん大学岡崎」も見てね！

## ☆今月の息子たち☆

休校 2 ヶ月半。  
ちまたでは、たくさんのオンライン教材が無料で提供されていて、また、各家庭で工夫して家庭学習に取り組む姿も見られたりしている・・・が、「やらされる勉強」が大嫌いな小3長男は、そういうものには見向きもしない。私が「こういうのあるらしいよー」と言っても、「NO! 必要ありません!」と完全拒否。

その代わりに、自分が興味のあることはどんどん深めていくタイプ。今のお気に入りには、  
・プログラミング・全国の道路・鉄道(これは相変わらず)

ちなみに、人から教わるのもあまり好きではない。とことん自分で調べて、わからないことを大人に訊く、というのが彼の学習スタイル。

プログラミングは、2年生の頃から学校の授業でやっていたに好きではあったが、今は、Eテレの番組を観て「スクラッチ」にハマっている。

道路は、以前から「道路地図が欲しい!」と言っていたが、たまたま 100 円ショップで全日本の道路地図が売っていたので買ってみたら、これまた大喜び。

そして、そんな兄をいつも見ている、お兄ちゃん大好き 2 歳次男。勉強する兄の横で、切れないハサミ(プラスチックの練習用ハサミ)で爪を切る(本当は紙を切ってほしいけど・・・)。ハサミに興味を持ったら、あっという間にきちんと持てるようになっていた。

勉強しろー、って言うだけ無駄だな、と、あらためて思った。自分にとって必要なことは、自分からどんどん吸収していくんだな。

StayHome な日々が続いて、正直本当に心身疲れている。ぶっちゃけ、これ以上ストレスは増やしたくない。それは親だけでなく、子どもも同じだと思う。

この先学校はどうなるの？  
9 月始まりとかなんていう話も出てきたりしてるけど、でもそんなのできるの？  
日本の世の中はすべて 4 月始まりなんだから、それ全部変えないと無理だよな？

そもそも、学校でやる勉強ってなんなんだろう？それ全部やらなきゃダメ？  
申し訳ないが、大学受験の時にあんなに勉強したこと、見事にキレイに忘れちゃったよ。  
微分積分とか、雲のかなたに飛んでったよ。  
でも私、特にいま困ってないよ。

企業の一括採用とか、そもそもの入試制度とか、飛び級がないこととか、今まで融通の利かなかったこの日本社会の制度が、今の子ども達や就活世代を苦しめている・・・

私たち親も経験したことのない今の状況で、そこに突っ込んでいけなくていけない子どもたちはどれだけ不安か。

もうこの先どうなるかわからないのだったら、好きなことを思う存分やらせてみようと思う。  
(2020.4.26 お母さん大学サイトに投稿した記事)

お母さん業界新聞 全国版  
発行/お母さん大学 発行人/藤本裕子(編集長)  
制作/お母さん業界新聞社  
〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町 1-8-406  
045-444-4030 info@30ans.com  
http://www.okaasan.net/